You, Unlimited

Ryukoku University

REC News Letter

Ryukoku Extension Center ニューズレター

No.178　発行日：2022年11月25日

お知らせ　龍谷大学ビジネスプランコンテスト「プレゼン龍2022」を開催します！

龍谷大学では2001（平成13）年度から、本学学生のベンチャーマインドの育成と大学発学生ベンチャーの発掘を目的に、ビジネスプランコンテスト「プレゼン龍（ドラゴン）」を開催しており、2022年度の同コンテストを開催します。

最優秀賞には活動支援金30万円、優秀賞には活動支援金10万円を提供し、受賞者には、創業支援ブースへの入居や専門家・関係機関の紹介等のビジネスプランの実現に向けた伴走支援を行います。

【開催日程】2022年12月17日（土）13:00～
深草キャンパス 和顔館1階アクティビティホール
※出場者以外の方もご覧いただけますので、是非お越しください。

なお、最優秀賞を受賞した学生、学生グループは、2023年3月3日（金）開催予定の「KANSAI STUDENTS PITCH Grand Prix」に本学の代表として参加します。

【応募方法・詳細】　https://www.ryukoku.ac.jp/nc/event/entry-11190.html





過去の開催の様子

お知らせ　龍谷IP（Ryukoku Inventive Program）事業として南華大学（台湾）との交流事業を開催します！

龍谷IPは、新たな教育プログラムの創出により本学の教学促進・充実を図ることを目的としたもので、ユヌスソーシャルビジネスリサーチセンターの取り組み「龍谷大学だからこその3キャンパス共通オンライン授業の展開」は2022年度から3年間の予定で採択されています。

同プログラムの一環として12月17日（土）に、龍谷大学の有志学生と、本学同様仏教を基盤とする南華大学（台湾）の学生とで、互いの大学の社会的取り組みと仏教SDGsについて考えるワークショップを実施します。

当日は見学いただくことも可能ですので、ご興味ありましたら[ysbrc@ad.ryukoku.ac.jp]までご連絡ください。

ご報告　”TURN THE TABLES” 公開型スタートプログラム「どうしてはっぴーの家ろっけんは生まれたのか～「社会の問題を住まいで解決する」ストーリーから学ぶ～」を開催しました！！

「斬新な企画」を思いつく起業家は、どんな思考で世の中を見ているのか。起業家の視点や考え方を学び取り入れるためのショートキャンププログラム「TURN THE TABLES」の1回目、公開型スタートプログラムを11月9日（水）に深草キャンパス和顔館1階アクティビティホールにて開催しました。

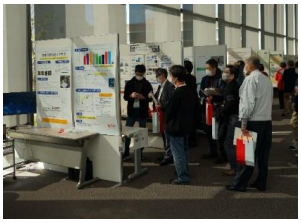
「自己内省力」、「問題発見力」、「創造的批判力」、「仮説構築力」などこれからの社会において誰もが身につけていくべき教養的な要素を獲得するための本プログラム。今回は「どうしてはっぴーの家ろっけんは生まれたのか～「社会の問題を住まいで解決する」ストーリーから学ぶ～」と題し、キャンプ参加者以外の参加も可能な講演を行いました。



神戸市長田区にある、車いすに座る高齢者から子育てママと赤ちゃん、学校帰りの子どもたち、外国人、ノマドの若者、アーティスト……さまざまな背景の老若男女が集まる介護付きシェアハウス。これまでの介護の常識を覆す取り組みとして全国から注目されている「はっぴーの家ろっけん」代表の首藤さんをお招きし、社会の課題を事業に結びつけていく課題解決型住宅のストーリーをお話しいただきました。

https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-11332.html

ご報告　ものづくり中小企業×龍谷大学先端理工学部連携交流事業in龍谷祭を開催しました！！





龍谷大学と滋賀県中小企業団体中央会では、滋賀県内の中小企業における技術力や経営力の向上、人材育成の分野での連携を図ることを目的に「産学地域連携基本協定」を締結、「産学連携コンソーシアム」を組織して、毎年、連携事業を行っています。

今年度、連携事業の一環として、先端理工学部3年生がR-Gap（※1）期間中に取り組む「プロジェクトリサーチ（※2）」を通じて、産学連携コンソーシアム会員である“ものづくり中小企業”と交流事業を実施しました。

学生は、「プロジェクトリサーチ」において、「体験型デジタルアート」の研究や「瀬田キャンパスの3Dモデル化」を指向するものなど36の企画を考案し、取り組みました。これらの取組を10月29日（土）に龍谷祭と同日開催のポスターセッションで発表し、“ものづくり中小企業”が、企業目線で評価しました。

12月21日（水）に表彰式を開催し、評価に基づき決定した「ものづくりプロジェクト大賞」を授与します。

また、併せて同時に実施された「先端理工学部オープンラボ（研究室公開）」では、企業が研究室等を訪れ、教員や研究室所属の学生たちと交流しました。

https://www.ryukoku.ac.jp/nc/news/entry-11521.html

※1　先端理工学部では、3年次の第2クォーターと夏期休業を合わせた約3カ月（6月中旬～9月中旬）を主体的に活動できる期間「R-Gap（Ryukoku Gap quarter）」と位置づけ、大学の授業以外の様々な活動を自由におこなうことを可能にしています。

※2　主体性や課題解決能力を養うことを目的に、自発的な発想で調査・研究活動をおこなう実験・実習科目です。

ご報告　びわ湖の日 滋賀県連携 龍谷講座「びわ湖の楽しみ方」の第2回を開講しました！！



石原 健吾 教授

11月12日（土）に、びわ湖の日滋賀県提携龍谷講座「びわ湖の楽しみ方」の第2回を開講しました。講師は、龍谷大学農学部の石原 健吾 教授にお願いしました。

「びわ湖で動く。ビワイチで楽しむスポーツ栄養学」と題して、ビワイチのような持久系スポーツを安全に楽しみ、体力を高めるための「栄養」について講演していただきました。

約70名の申込みがあり、参加者からはご自身のライフサイクルを踏まえてのご意見やご質問があったなど、非常に興味深くお聞きいただいた様子が伺えました。

今年度のラストを飾る第3回は、12月3日（土）に「びわ湖を紐解く。－びわ湖を渡るモノ・人・文化－」をテーマに開講します。この講座では、昨年から開始した「びわ湖100地点環境DNA調査」の結果紹介も行います。皆様、奮ってご参加ください。

https://rec.seta.ryukoku.ac.jp/lifelong/lecture/biwako2022.html

お知らせ　12月のRECの活動

●12月１日(木)より、12月27日(火)配信スタートの「龍谷オンライン講座」申込受付を開始します。
●12月7日(水)～9日(金)　「プラントショー OSAKA 2022」出展
●12月3日(土)11:00～12:30
　びわ湖の日滋賀県提携 龍谷講座 第3回「びわ湖を紐解く。ーびわ湖を渡るモノ・人・文化ー」（オンライン開催）
●12月10日(土)13:30～16:00
　福祉フォーラム　専門セミナー「支援と寄り添い～伴走型支援に向けて～」
●12月12日(月)18:00～20:00
　福祉フォーラム　対話共創型プロジェクト　第2回「さまざまな人びととの出会いからつながること-京都編」（ハイブリッド開催）

RYUKOKU UNIVERSITY

Ryukoku University
REC News Letter

No.178
REC News Letterは毎月発行。次回は12月26日頃発行します。
※バックナンバーは下記よりご覧ください。
https://event.rec.seta.ryukoku.ac.jp/news_letter-3/

編集・発行：REC事務部
https://rec.seta.ryukoku.ac.jp/

・REC滋賀　RECホール（内線7744）
・REC京都　4号館2階　（内線1193）